

駅前広場の使い方＋設えの提案

第8回でいただいた駅前広場の使い方および設えの提案に関する各班の主な意見を整理しました。

＜駅前広場の使い方の提案＞

【みんなが使える設え】

- みんなが誰でも使える設え

1班：みんなが使える施設があるとよい

【休憩・暑さを凌ぐ】

- 暑さや風をしのぐ木陰やベンチがありゆったりくつろいだり、待ち合わせや

わんわんコミュニティで楽しみたい。

2班：休憩でき、暑さをしのげるベンチと木陰

4班：ボートができる、待ち合わせの場所、犬の散歩をする人たちの交流の場

5 + 6班：お母さんや外から帰ってきた人がちょっと休める場所

5 + 6班：ちょっと休める。ちょっと一息、ちょっと待ち合わせ、ちょっとおしゃべり、ちょっと遊べる広場

【遊びのスペース】

- 子どもたちが遊べるゾーンがあるとよい。

2班：小さい子が遊べる遊具があるゾーン

4班：遊び場となるスペース

【イベント】

- 盆踊りや子ども祭りをはじめ、地域の行事を開きたい。

2班：物販やイベントに使える小さい広場

2班：盆踊りや子ども祭りなどのイベントができる場

3班：盆おどり

→例）小田急線経堂駅では、高架下を活用してお祭りを実施。高架下が屋根の機能になり
雨天時も活用可。

4班：お祭りのスペース

【物販広場】

- マルシェや姉妹都市の物産展などを開催したい。

1班：区が提携する地方の市町村のものを販売する物販店があるとよい

2班：物販やイベントに使える小さい広場

3班：マルシェ

4班：バス乗り場と駅をつなぎながら、マルシェもできる屋根空間

4班：近隣の農家さんの野菜直売場や週末のマルシェ、お祭りができるスペース

【図書館】

- 図書館があると便利。
- 1班：図書館があると通勤通学の帰りに寄れてよい

【様々なトライできる場】

- 新たな活動への挑戦やチャレンジショップなどを開きたい。
- 1班：地元を活性化できるように様々なトライできる場があるとよい
- 1班：区がチャレンジ用の店舗をつくる（下北線路街のような）

【防災活動】

- 防災の拠点になるとよい。
- 2班：災害時に使えるかまどベンチ

【これは避けたい】

- ▲（日常的に）夜遅くまで騒ぐのは禁止したい。
- 5 + 6班：若者が夜まで騒ぐような場はいらない

＜駅前広場の設えの提案＞

【盆踊り】

- 盆踊りなら丸い形状の広場が使いやすいが、イベント時は送迎車が利用できなくなるのは困る。
- 3班：盆踊りをするなら、丸く敷地を取りたい
- 3班：タクシーや送迎車はどこに駐車するか。タクシーや送迎車が北側一列に並んだらイベントはできないのではないか

【商店街と一体のイベント】

- イベント時は広場と道路を一体的に利用する可能性もある。
- 3班：北側に交通機能を集め、イベントは南側敷地を活用して、商店街と一体的に行うことも考えられる。南側敷地と南側の道路を歩行者天国にして実施することも考えられる

【ベンチと木陰】

- 北口には高木を、南口にはベンチに木陰（日よけ）を整える。
- 5 + 6班：北口には高木等のみどりを増やす
- 5 + 6班：今の赤いベンチに木陰または屋根位でいい